

第4週（令和7年1月20日から1月26日まで）の集計結果

【八王子市内の今週の傾向】

○インフルエンザは、小児科定点あたり 16.1 人（先週：第3週 定点あたり 24.2 人）、インフルエンザ定点あたり 11.1 人（先週：第3週 定点あたり 16.9 人）と、依然として警報レベル（終息基準値：定点あたり 10.0 人）が続いています。感染経路は接触・飛沫感染です。

○伝染性紅斑は、定点あたり 2.6 人と、先週（第3週 定点あたり 3.1 人）より減少しましたが、依然として、警報レベル（開始基準値：定点あたり 2.0 人）が続いています。感染経路は接触・飛沫感染です。

○感染性胃腸炎は、定点あたり 11.3 人で、先週（第3週 定点あたり 6.5 人）より増加しました。感染経路は経口・飛沫感染です。

○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり 2.9 人で、先週（第3週 定点あたり 2.0 人）より増加しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○新型コロナウイルス感染症は、小児科定点あたり 6.4 人（先週：第3週 定点あたり 4.3 人）、新型コロナウイルス定点あたり 6.7 人（先週：第3週 定点あたり 4.0 人）と、先週より増加しました。感染経路は接触・飛沫・エアロゾルによる感染です。

○百日咳の報告が3件ありました（10代男児2名・女児1名）。

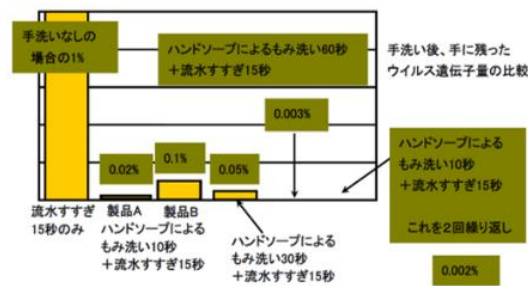
☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

- ・ 第3週 : 令和7年1月13日から1月19日まで
- ・ 第4週 : 令和7年1月20日から1月26日まで
- ・ 小児科定点 : 八王子市内 小児科 12ヶ所
- ・ インフルエンザ定点 : 八王子市内 小児科 10ヶ所、内科 7ヶ所
- ・ 新型コロナウイルス定点 : 八王子市内 小児科 10ヶ所、内科 7ヶ所
- ・ 東京都基幹及び小児科病原体定点医療機関 : 都内 43ヶ所

○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すぐ」を2回繰り返すと効果的です。

手洗いの効果



出典元：東京都健康安全研究センター 「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」

【東京都の感染症発生状況】

■東京都感染症情報センター

- ・「東京都の感染症発生状況」

https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/international_ja/

○インフルエンザに関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「東京都インフルエンザ情報 第17号」（1月24日発行）

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/flu/2024/Vol27No17.pdf>

- ・「インフルエンザの流行状況（東京都 2024-2025 年シーズン）」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/flu/flu/>

■東京都保健医療局

- ・「都内のインフルエンザ、警報基準を超える」（12月26日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/12/26/14.html>

○感染性胃腸炎に関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「ひとくち感染症情報 感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）の季節到来！」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/gastro/hitokuchi-joho.pdf?20241205>

- ・「感染性胃腸炎の流行状況（東京都 2024-2025 年シーズン）」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/gastro/gastro/>

■東京都保健医療局

- ・「感染性胃腸炎にご注意ください！」（12月5日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/12/05/03.html>

○伝染性紅斑に関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「ひとくち感染症情報 伝染性紅斑が増えています！」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/fifth-disease/hitokuchi-joho.pdf?20241121>

- ・「伝染性紅斑の流行状況」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/fifth-disease/fifth-disease/>

■東京都保健医療局

- ・「伝染性紅斑が流行、都内で警報基準に達する」 （11月21日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/11/21/15.html>

○マイコプラズマ肺炎に関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「ひとくち感染症情報 マイコプラズマ肺炎ってどんな病気??」

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/diseases/mycoplasma/hitokuchi-joho.pdf?20240926>

■東京都保健医療局

- ・「マイコプラズマ肺炎の報告数が過去最多となりました」 （9月26日報道発表）

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/09/27/09.html>

○新型コロナウイルスに関する情報

■東京都感染症情報センター

- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について」

（一般都民向け情報）

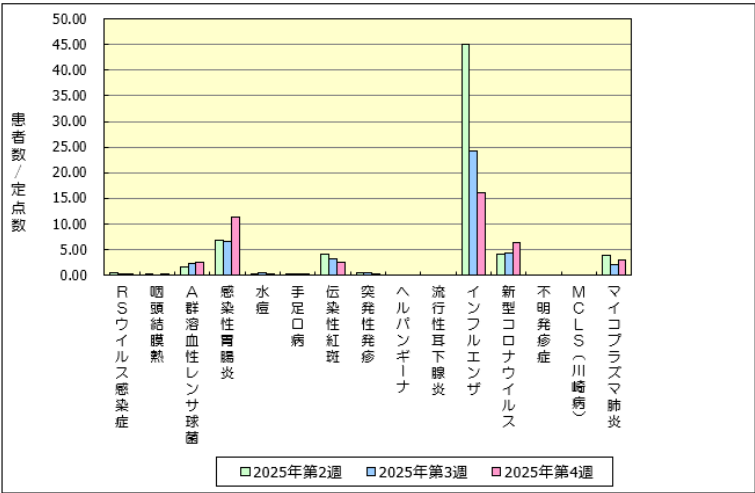
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/2019-ncov/>

（医療関係者向け情報）

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/medical/covid-19/>

第4週（令和7年1月20日から1月26日まで）の発生状況

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、
全数報告疾患となったため、発生状況については、風しん・麻しん・百日咳発生状況をご覧ください。



第4週疾患毎発生状況グラフ

	2024年 第51週	2024年 第52週	2025年 第1週	2025年 第2週	2025年 第3週	2025年 第4週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	8↑	2↓	1↓	5↑	4↓	4→	14
咽頭結膜熱	5↓	3↓	0↓	2↑	0↓	4↑	6
A群溶血性レンサ球菌	57↑	22↓	3↓	18↑	26↑	29↑	76
感染性胃腸炎	126↑	83↓	16↓	81↑	78↓	135↑	310
水痘	10↓	2↓	6↑	4↓	5↑	1↓	16
手足口病	19↓	11↓	2↓	2→	1↓	1→	6
伝染性紅斑	36↓	36→	8↓	49↑	37↓	31↓	125
突発性発疹	3→	0↓	0→	6↑	5↓	3↓	14
ヘルパンギーナ	0→	0↓	0→	0→	0→	0→	0
流行性耳下腺炎	2↑	0↓	0→	0→	0→	0→	0
インフルエンザ	1250↑	1741↑	426↓	541↑	290↓	193↓	1450
新型コロナウイルス	37↑	68↑	16↓	41↑	43↑	64↑	164
不明発疹症	1→	0↓	0→	0→	0→	0→	0
MCLS（川崎病）	0→	1↑	0↓	0→	0→	0→	0
マイコプラズマ肺炎	111↑	95↓	24↓	45↑	24↓	35↑	128

第4週疾患毎発生状況表

第4週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	新型コロナウイルス	不明発疹症	MCLS（川崎病）	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
～11ヶ月	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
1歳	2	1	0	14	0	1	1	2	0	0	7	4	0	0	0
2歳	0	2	0	16	0	0	0	1	0	0	11	0	0	0	1
3歳	0	1	3	17	0	0	6	0	0	0	6	2	0	0	0
4歳	0	0	4	10	0	0	1	0	0	0	14	3	0	0	0
5歳	0	0	4	7	0	0	7	0	0	0	20	2	0	0	0
6歳	0	0	6	8	1	0	8	0	0	0	9	7	0	0	0
7歳	0	0	6	7	0	0	4	0	0	0	12	3	0	0	0
8歳	0	0	2	6	0	0	3	0	0	0	8	2	0	0	0
9歳	0	0	1	6	0	0	1	0	0	0	12	1	0	0	1
10～14歳	0	0	3	21	0	0	0	0	0	0	33	17	0	0	3
15～19歳	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	7	5	0	0	4
20歳以上	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	52	17	0	0	26
合計	4	4	29	135	1	1	31	3	0	0	193	64	0	0	35

第4週年齢別発生状況表

※インフルエンザは、「10～12歳」「13～14歳」の区分でしたが、
令和5年第16週より、国への報告に合わせ、「10～14歳」の一区分となりました。